

児童発達支援自己評価表【事業者向け】

令和2年度

		はい	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・体制設備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		死角が多いため活動によって扉をしないや、利用者の人数をみて職員の配置を多くしたりしている。
	② 職員の配置数は適切であるか	○		基準の配置は満たしている。活動や利用者の人数によって出来る時は、職員の配置を増やしている。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか	○		トイレや扉に絵カードを貼るなど、構造化を心掛けている。バリアフリーについては、入り口はされている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日利用前に掃除、消毒を行い清潔を保つようにしてる。活動によって扉を開閉したり、机を移動させたりと空間を変えている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		社員全員参加のミーティングや、月1回職員全員参加の全体ミーティングを行っている。あと、日々のミーティングノートの活用にて行っている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○	今年度は利用児童がいないため、保護者に対して事業所評価を実施していない。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		法人のホームページで公開している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在外部評価までは行っていない。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		社内研修を行ったり、外部研修は出来る限り参加している。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		日々の児童の様子や、送迎時、面談での保護者の情報をもとに相談して、個別支援計画に反映させている。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		保護者に適宜、事業所独自のアセスメントシートを記入してもらっている。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○	「家族支援」、「地域支援」についてはまだ十分ではないので、今後できるよう心がけている。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		児童発達支援計画に沿った支援が行えるように、定期ミーティング、月1回の職員全員参加の全体ミーティング等で随時伝達を行い、情報共有を図っている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当職員が立案し、詳細は職員間で話し合いをして決めている。
	⑮ 活動プログラムが固定化しない工夫しているか	○		曜日で固定されている活動もあるが、運動、創作、料理、季節の行事など、様々な活動を行っている。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○		基本集団活動が中心だが、集団活動の時間と個別活動の時間を作っている。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日に行われている支援の内容や役割分担について確認しているか	○		定期ミーティングで送迎や活動内容など確認。また、各自ミーティングノート、送迎表、予定表を見て確認している。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		定期ミーティングで振り返りを行っている。特記事項はミーティングノートに書いて伝達している。
	⑲ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		主観的な記録ではなく、客観的な記録をとるように心がけている。モニタリングなどで正しく記録できているか確認している。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		計画に基づいて、必ず半年に1回はモニタリングを行っている。利用者の状況に応じて、職員間で話し合い見直しの判断を行っている。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が主に参画している。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○	現在ないため、検討していく。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	現在、医療的ケアが必要な子どもの受け入れ整備が整っていない。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	現在、医療的ケアが必要な子どもの受け入れ整備が整っていない。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	現在、情報共有と相互理解は図れていない。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		就学後の学校送迎時に、情報共有と相互理解を図っている。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	現在ないため、検討していく。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	地域の公園や児童館などには行くが、交流までには至っていない。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	昨年度までは、市の社会福祉協議会が行っている運動会に参加していた。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に日々の状況を伝えている。面談等の話し合いなどで共通理解を図っている。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	現在ペアレント・トレーニング等の支援まで行っていない。今後検討していく。
	㉛	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に、契約書や重要事項説明書にて説明している。
保護者への説明責任等	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		児童発達支援管理責任者が、支援内容を保護者に説明し同意を得ている。
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時、送迎時や電話連絡などで保護者様からの相談は受けられるようにしている。
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在、父母の会や保護者会等は設けていない。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情・要望受付窓口を設置し、苦情解決責任者を配置している。相談などあった時は、相談・苦情報告書を作成し、職員間で情報共有を心がけている。
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月の予定表と、詳しい内容のお知らせと一緒に配布している。年1回はスタッフ紹介のお知らせを配布している。
	㊲	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○		契約時に保護者様から、個人情報の同意書を頂いている。職員の意識が高まるように、ミーティング等で議題に挙げるなど、徹底するよう努めている。
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		障がい特性に応じて、写真や絵カードなど使っている。
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在、事業所の行事が行えていない。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	現在マニュアルはあるが、まだ周知にまで至っていない。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に、消防署での避難体験を行ったりしている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時や、保護者に適宜記入してもらっている事業所独自のアセスメントシートで確認したり、面談や送迎時の時に確認したりしている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	医師の指示書とまではいかないが、事前に保護者からアレルギーの有無を確認する。現在アレルギーのある利用者はいない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例集の作成まで至っていないが、ミーティングで話した事例はミーティングノートに書き、事業所内で共有している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		できる限り研修に参加している。参加できなくても、事業所内で伝達研修を行うようにしている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	○		契約時にやむを得ない場合の説明を行っている。必要な場合には保護者に説明しご理解いただいた上で、計画に記載する。